

又吉配水場事故による断水について

平成26年1月16日(木)、市内の広い範囲で断水し、4万5000人以上の皆さまに、大変なご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。

また、その連絡や広報について、消防団や自主防災会・コミュニティ推進協議会の皆さまにご協力いただきました。厚くお礼申し上げます。

今回の断水は、日光川の西側全域に水道水を供給している又吉配水場で、配水ポンプが停止したため起きたものです。配水用ポンプの配管に想定外の水圧が加わり、配管が抜け落ちたことにより、配水場内に水があふれ出し、異常と判断した自動制御システムが作動したためです。

応急措置として、愛知県からの応援給水を受ける等の対応により、事故発生から約1時間20分後に応急的な給水を開始しました。約3時間後には、ポンプを復旧し通常水圧での給水を再開しました。

この間、不意の断水で困惑している皆さまへの情報提供が遅れ、重ねてご迷惑をおかけしました。

今後、同様の事態を招かないよう、今回の事故を検証し、対策を進めてまいります。



抜け落ちた配水用ポンプ配管

主な「問題点」と「今後の対応」、その中でも、早期に必要な「当面の対応」についてまとめました。

問題点

① 市内の連絡体制

○水道担当部署から、市の主要職員や広報担当部署へ、適時に、必要な報告等が行われなかった。

② 広報体制

○断水について広報・連絡するまでに、事故発生から1時間以上かかった。

○ホームページが、アクセスの集中により、閲覧できない状況となった。

③ 施設の老朽化

○上水道施設は老朽化が進み、年々故障リスクが高くなっている。

今後の対応

① 危機事案発生時の対応マニュアル等の整備

○危機事案が発生した時、各部署から、主要職員や広報担当部署へ報告する。

○危機事案の範囲や影響度を考慮し、対応職員が参集する。

○情報を一元管理して、定期的に発表・伝達する。

○市民・マスコミ等からの個別の問い合わせへの対応方法をルール化する。

○水道担当部署以外の各部署においても、発生が予想される危機事案への個別の対応マニュアルを整備する。

② 地域と連携した情報提供

○コミュニティ推進協議会や町内会、自主防災会、消防団等の団体・組織を通じて情報提供や収集を行う。

③ ホームページの機能強化

○アクセスが集中した際でも閲覧できるようにシステムを強化する。

④ 上水道施設の早期更新

○又吉配水場の今後の更新計画を前倒して、早期の更新を目指す。

○各家庭へ水道水を供給する配水管のうち、基幹配水管について、災害時対応も踏まえ、耐震化を進める。

当面の対応

○ポンプ室内に水道水が逆流しないよう制御弁を設置した。

○暫定的な市全体の危機管理対応マニュアルを策定し、危機事案発生時の情報伝達ルール、広報ルールを定め、指示・命令システムを明確化した。

○水道担当部署内で、事故の種類・レベルに応じた初動体制・情報提供体制を確立できるよう、マニュアルを見直す。(3月中。今後、年一回以上の訓練を行う)

○ホームページを、アクセスが集中した時でも閲覧できるように、通信回線の容量を増強する。(3月中)



又吉配水場